

A 郡川水利組合や県央振興局との調査等により、小水力発電を設置できる可能性がある場所が2カ所あった。今後、詳細に検討し、実現に向けて努力したい。

郡岳南登山口の整備について

村上 秀明 議員

Q 南登山口には、かなり老朽化したトイレがあり、このトイレの改修が建て替えが必要と考えるが、市の対応はどうか。また、駐車場の舗装整備も行うべきと思うがどう考えるか。このトイレや駐車場の管理を野岳湖公園管理業務に含ませて実施できないか。

A 登山口のトイレの改修については、利用状況の確認や利用者の声を聞き、対応していきたい。駐車場については現状でも支障はないと考えている。野岳湖公園の指定管理者による管理については協議する。

市内有力企業の経営状況について

村上 秀明 議員

Q 地場企業のひとつSUMCO TECHXIVのその後に

ついて、工業用水道の決算審査意見書には「水需要の増加は見込めなくなった」とあるが、水を使わないということは生産ペースが落ちていると考えるが、市ではどのような現状把握をされているのか。また、雇用状況はどのようなになっているのか。

A

親会社SUMCOの事業再生計画を受け、SUMCO TECHXIVも生産体制再構築に伴う要員体制の見直しとなった。市としては雇用の維持について要請を行い、現在約1,200名の社員がいるが1,000名以上の体制は維持していただけている。なお、2012年7月期の連結決算では約49億円の赤字である。

住宅リフォーム助成の現状について

村上 信行 議員

Q

中小零細建設事業者より強い要望があり、不況対策として一般住宅リフォーム助成制度を発足していただいた。施工については大規模事業者に偏らないようにしていただきたいが現状はどうか。

A 現在、この事業による改修工事費総額は3億7,000万円を超え経済効果が出ている。申請状況では個人事業主から建設業者まで幅広く実施されている。できるだけ中小零細企業に向けるよう努力していくが、公共性というものがある。あとはそれぞれの企業の営業努力であると思う。

教育・文化・スポーツ

小学3年生からの外国語活動について

城 幸太郎 議員

Q

外国語活動はALT(外国語指導助手)により小学5年生から実施されているが、コミュニケーションの道具としての英語にもっと早い時期から興味・関心を持たせ、その能力の素地を養わせる必要があると考える。そのために費用を軽減できるJETプログラムによるALTの増員を図り、小学3年生からの活動が実施できないか。

A

人間的な増員は可能であるが、受け入れ環境を整えるのが課題となる。低学年から外国

語活動を行うことによる効用は高いと認識している。授業に組み込むことは難しいが、日常の活動の中で参加できる機会をつくってきたい。

「市民ミュージカル光る海」の県内公演を

水上 享 議員

Q

県は2015年を目標に長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界文化遺産登録を目指している。日本最初のキリシタン大名大村純忠は430年前に天正遣欧少年使節を派遣しヨーロッパに日本を知らしめた。大村の力が脈々とつながっている天正遣欧少年使節ミュージカル光る海を県事業として県内各地での公演要請をすべきだ。

A

現在、波佐見町、西海市、南島原市、雲仙市等、天正遣欧少年使節ゆかりの地での公演が検討されている。ご指摘のとおり、これは長崎県全体にも関係がある。可能であれば、長崎ブリックホールやアルカス佐世保での公演など、県の力添えをいただきながら、県民の宝として広げていきたいと考えている。